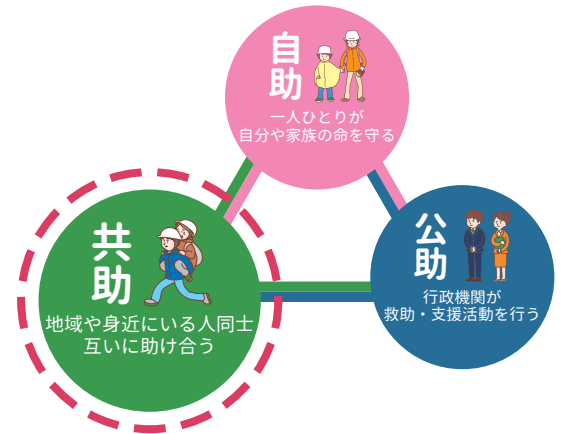


要配慮者を災害から守るためには、地域のみなさんのご協力が必要です。  
助け合いの心で守ってください。

## 要配慮者とは

高齢者や障がい者、傷病者、乳幼児、外国人など、災害発生時に特に配慮が必要な人を要配慮者と言います。要配慮者を災害から守るために地域で協力し合いながら、その人の状態や状況に応じた配慮や支援が行えるように日ごろから備えておきましょう。



## 要配慮者の安全な避難誘導の例

### 高齢者や寝たきりの方

あらかじめ要配慮者を把握しておきましょう。  
できるだけ複数人で対応できるようにしましょう。

車いすや担架を使うほか、緊急時には背負って避難しましょう。



### 病気やけがをしている方

状況に応じて、声をかける、肩を貸す、手をそえるなどの協力をしましょう。



### 目の不自由な方

「お手伝いしましょうか」とまず声をかけましょう。

誘導するときは、腕を貸してゆっくりと歩きましょう。



### 耳の不自由な方

正面から口を大きく動かして話しかけるようにしましょう。

口頭で伝わりにくい時は、身ぶり手ぶりや筆談で正確な情報を伝えましょう。



### 車いすを利用している方

階段では2人以上で援助し、上りは前向き、下りは後ろ向きで移動しましょう。

要配慮者が1人の場合は背負って避難しましょう。



### 日本語が十分でない外国人の方

孤立させないように、日本語でもいいので声をかけるようにしましょう。

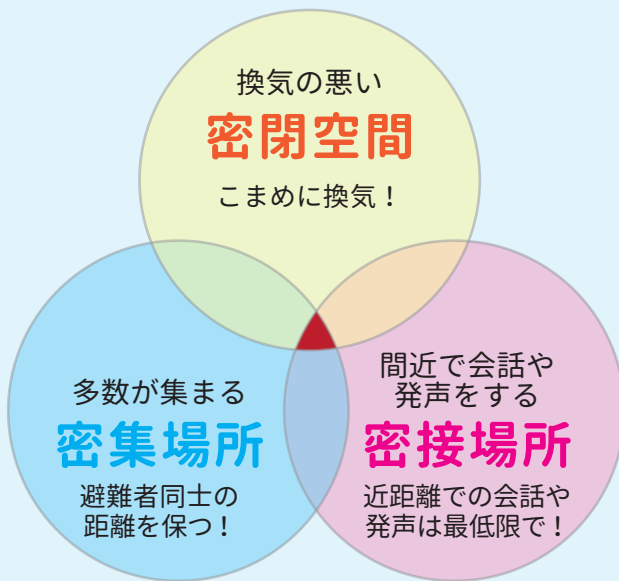
言葉が通じない場合は、身ぶり手ぶりで伝え、道順などは手で方向を示してあげましょう。



避難所での「新型コロナウイルス」等の感染予防対策へのご協力をお願いします。

- ① マスク、消毒、体温計など感染症対策に必要なものはできるだけ持参しましょう。
- ② 避難所ではマスクを着用し、マスクがない場合は咳・くしゃみの際にハンカチや袖などで口・鼻を覆いましょう。
- ③ トイレや食事の前など、こまめにうがいや手洗いを行いましょう。
- ④ 避難所での「密」を避けるために、安全な親戚・友人宅に避難することも考えましょう。

## 3つの密を避けましょう！



3つの条件が揃う場所はクラスター発生リスクが高い！

## 避難所の混雑状況のチェック！

MAP 型混雑検知システム

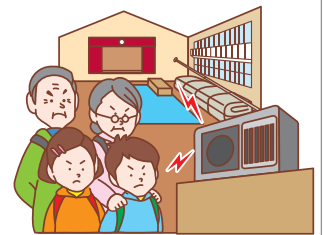
### 「VACAN」サイト

にアクセスすることで、避難所の混雑状況をリアルタイムで確認できます。



## 避難所でのマナー

- ▶ 水道が使えない場合は飲み水や生活水の確保がとても重要です。水を大切に使いましょう。
- ▶ 高齢者や体の不自由な方など、要配慮者への気配りを心がけましょう。
- ▶ 最初の数日間分の食料品は持ち込みです。



- ▶ 避難所及びトイレの掃除はみんなで定期的に行い、清潔に保ちましょう。
  - ▶ 物資が支給される場合は、列に並び、自分の順番を待ちましょう。
  - ▶ 避難所は、原則、禁煙です。施設管理者が許可した場合のみ所定の場所で喫煙しましょう。
- ※原則、室内へのペットの持ち込みは禁止されています。

## 避難所での注意点

- ▶ トラブル防止のため、所持品に名前を書きましょう。
- ▶ 熱中症対策として、水分をこまめに取り、適量の塩分もとりましょう。
- ▶ エコノミー症候群対策として、座ったままでも足や指先を動かすなどの運動を行いましょう。
- ▶ 食中毒予防のためペットボトルの使いまわしに注意しましょう

